

独自モデル武器に成長

2019年
1月8日

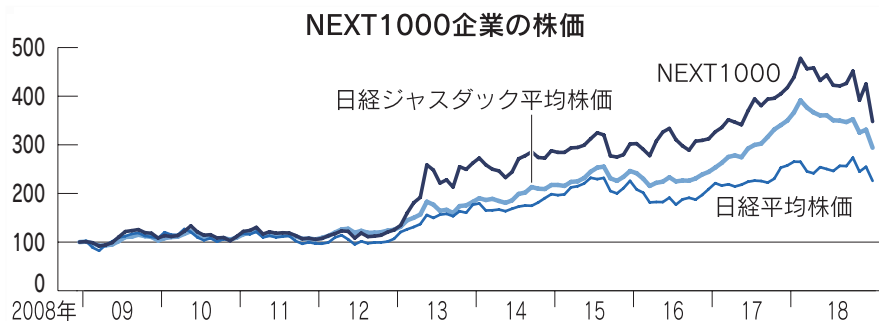
火曜日

《12面》

2018年に市場で価値を高めた企業

順位	社名	業容	平均時価総額の増加額 (億円)	2018年12月の時価総額 (億円)
1	ペプチドリーム	医薬品候補物質の創製	1,727	5,360
2	サンバイオ	再生細胞薬の開発	1,253	4,032
3	北の達人コーポレーション	健康食品・化粧品販売	716	526
4	ジャパンインベストメントアドバイザー	航空機リース	637	931
5	インフォマート	電子取引市場	586	1,303
6	夢の街創造委員会	ネットで飲食物の出前受け付け	474	565
7	ユーザベース	情報サービス	407	509
8	M&Aキャピタルパートナーズ	M&A仲介	397	592
9	ソースネクスト	ソフト開発	394	740
10	ラクス	クラウドによる経理支援やメール管理	380	770

日本経済のけん引役と期待される中堅上場企業「NEXT1000」を対象に、2018年の1年間でならした平均時価総額の増加額をランキングしたところ、独自の技術やビジネスモデルを武器に業績を伸ばすバイオやネット関連企業が上位に並んだ。1位のペプチドリームは17年の時価総額増加ランキングでも首位だった。2位は創薬ベンチャーのサンバイオが入った。



(注)2008年末を100としてNEXT1000企業の時価総額(加重平均)と日経平均株価、日経ジャスダック平均株価を指数化した

©日本経済新聞社 許諾番号30067079
日本経済新聞社は、記事内容により、特定の企業・団体や商品・サービスの購入・投資等を推奨するものではありません。

調査の概要 2018年12月末時点で上場する国内企業の中で、直近決算期の売上高が100億円以下の97社を対象(TOKYO PRO Market上場企業、金融、決算変更など除く)。短期的な株価変動の影響を抑えるため、18年の1年間でならした平均時価総額を17年の平均時価総額と比較。増加額が多い順に並べた。